

# 令和6年度 事業報告書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

特定非営利活動法人なでしこ会

## 1 事業の成果

なでしこ共同作業所に約25年間通所されていた利用者が居所と日中活動の場を変更することになり、当作業所を卒業しました。御本人の持ち前の社交性を発揮され、新しい環境で順調に生活を送っています。25年前、時間やルールを守るところからはじまった当作業所での日中活動で生活力を培い、新しい環境で活かされています。

障害者生活支援センターこら～れの指定管理業務では、福祉サービスにつながっていないひきこもりの方への訪問を定期的に行い、関わる人を増やしたり一緒に外出をする機会をつくっています。

また、建部地域のケアマネージャー、地域包括支援センター職員が集まるケアマネ研究会からの依頼で、障害や障害福祉サービスについて理解を深めてもらうことを目的とした講話を行いました。特に高齢の親がひきこもり状態の子の生活を支える8050問題について、高齢者支援分野の関係者と障害支援分野の関係者が互いの領域から一步踏み出し合って家庭全体を支援していく重要性を確認し合う機会となりました。

地域交流事業では、昨年に引き続き「福あつめプロジェクト」を実施し、286枚の「ちょっと良いことカード」が集まりました。

中学生を対象とした「たけべ中学生だっぴ」については、地域の個人・団体から参加協力や寄付をいただき8回目の開催ができます。

「たけべ部」は従来の地域と学校の連携体制を基盤として、より幅広い層の地域住民、団体等が参画し緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する『地域学校協働本部』として位置づけられました。月に1度ペースで建部町防災センターを借用し、中学生に安全な寄り道と自己実現の場を提供しています。

## 2 事業の実施に関する事項

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1) 障害者総合支援法に基づく地域活動支援センターⅢ型事業					
なでしこ共同作業所の運営	月～金 10:00～ 15:00	なでしこ共同作業所	指導員 5 人、ボランティア 5 人	障害当事者、関係者/約 100 人	5,490
2) 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業					
特定相談支援事業所の運営				実施なし	
3) 公の施設の運営・管理に関する受託事業					
障害者生活支援センター こら～れの運営	月～金 9:00～17:00	障害者生活支援センター	職員 5 人、ボランティア 5 人	障害当事者、関係者/約 350 人	17,583
4) 障害保健福祉に関する啓発事業					
機関紙「なでしこだより」 の発行	年 1 回	なでしこ共同作業所	職員 1 人	会員・関係者/ 約 120 人	6
Facebook による情報発信	通年	なでしこ共同作業所	職員 1 人	不特定多数	
5) 地域交流に関する事業					
福あつめプロジェクト	建部町文化祭 11/23, 24	建部町文化センター	職員 5 人	地域住民 300 人	28
たけべのちっちゃな パソコン教室	年 9 回	利用者の自宅	職員 1 人	地域住民 延べ 4 人	
たけべ中学生だっぴ	11/27	建部中学校	大人・実行委員 20 人/大学生 10 人	中学生 26 人	
たけべ部	全 12 回	建部町防災センター／建部町老人福祉センター	実行委員 6 人 地域住民 5 人	中学生延べ 163 人	
メンタルボランティアさく らの会活動	通年	なでしこ共同作業所/障害者生活支援センター	ボランティア 5 人	障害当事者 30 人	

### 3 実績報告

#### 1) なでしこ共同作業所の運営

##### ① 利用状況について

項目	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
開所日数	238 日	240 日	240 日	238 日
登録者数	10 人	10 人	9 人	10 人
利用延べ人数	2,025 人	1,882 人	1,829 人	1,643 人
一日平均利用人数	8.50 人	7.84 人	7.62 人	6.9 人
平均年齢	65 才	65 才	66 才	65 才
平均工賃	内職賃金	35,982 円	34,109 円	39,378 円
	賞与	17,092 円	20,465 円	16,539 円
	合計	53,074 円	54,574 円	55,917 円
				51,399 円

##### ② 作業内容について

作業内容	取引先
アルミ缶回収リサイクル処理作業	アルテミラ・テクノソリューションズ株式会社
ペットボトル回収リサイクル処理作業	株式会社カロスアウラ
資源回収団体報奨金	岡山市
草とり・落ち葉かき等の野外作業	友愛の丘
箸入れ・風呂敷折り等の作業	昭和製箸
手芸品・さをり織りの製作と販売	たけべ八幡温泉委託販売 老人センター委託販売 はっぽね桜祭り 吉田れんげ祭り たけべマルシェ 建部町文化祭（さをり体験会）

##### ③ 作業以外の行事等について

- 大掃除＆忘年会
- 初詣＆食事会

##### ④ 支援について

- メンタルボランティアさくらの会による支援：延べ 92 人

#### 2) 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

実施なし

### 3) 障害者生活支援センターの運営・管理に関する受託事業

#### ① 施設の運営・利用状況

内 容	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
登録者数	17人	17人	17人	19人
関わり人数（実）	58人	64人	76人	76人
開館日数	242日	243日	243日	243日
利用人数（延）	2,556人	2,250人	2,069人	1,886人
1日平均利用者数	10.5人	10.3人	8.5人	7.8人
風呂の利用許可及び 利用料の収納	3回 (実1人)	5回 (実1人)	17回 (実2人)	57回 (実3人)

#### ② 建物管理について

##### ● 建物に関する不具合と対応

施設の区分	損傷、磨耗、不具合の状況	対応状況
外壁（南・北・西側）	外壁の塗装、庇裏の爆裂補修	岡山市負担で工事を実施した。

##### ● 避難訓練（令和6年9月24日・令和7年3月31日）

#### ③ 相談の状況（件）

内容	R5年度	R6年度	内容	R5年度	R6年度
訪問	352	332	メール	5	6
来所相談	460	372	個別支援会議	36	18
同行	82	80	関係機関	464	318
電話・FAX	671	625	時間外対応	21	16

#### ④ 相談内容（件）

内容	R5年度	R6年度	内容	R5年度	R6年度
福祉サービス	353	301	年金・手当・生活保護	52	67
障害・症状	157	113	金銭・生活	718	506
健康・医療	511	509	就労	94	143
不安解消	470	512	社会参加・余暇	217	239
保育・教育	1	4	権利擁護	71	6
家族・人間関係	241	222	その他	0	0

⑤ 基礎的事業（述べ参加人数）

利用者活動	R5 年度	R6 年度
ボランティア活動（月1回）	—	7
ミニ交流会（月1回）	49	21
お楽しみ会（月1回）	70	65
ミニ作業（回覧板・さをり織り）	51	37
オープンキッチン（自炊練習）	0	1
カラオケ	25	0
大掃除・忘年会	9	10

⑥ ボランティアの養成及び育成・組織育成（件）

内 容	R5 年度	R6 年度
家族会支援	3	1
ボランティア団体支援	3	0
教育機関との連携	2	6
サービス向上のための研修等	18	22
広報・啓発	5	5
地域交流に関わる取組	26	54
協議会・運営会議等	56	67
吉備中央町関係	7	10
人材育成	0	1
他事業所への指導等	3	1

4) 障害保健福祉に関する啓発事業

① 法人会員数（人）

種 別	R5 年度	R6 年度
正会員	20	17
賛助会員	44	37
合計	64	54

② 機関紙「なでしこだより」の発送

号数	発行日	掲載内容
42	令和6年8月23日	総会報告

## 5) 地域交流に関する事業

### 福あつめプロジェクト

■日 時	建部町文化祭（11月23日・24日）
■内 容	地域住民、介護・福祉サービス利用者にカードを配り「最近あつた良いこと（福）」を記入してもらい、建部町文化祭で展示した。
■結 果	建部町地域包括連携会議を中心に参加を募り、事前には10団体が参加、当日参加と合わせて合計286枚を展示した。建部中学校の参加協力があり、例年よりも多くの「良いことカード」が集まった。

### たけべのちっちゃんパソコン教室

■実 施	9回
■参加人数	9人（実4人）
■内 容	Microsoft Word・Excel、パソコン設定
■目 的	地域活動団体の事務担当者のパソコン操作を支援する。事務に時間や労力をとられて積極的な地域活動ができない、新たな取り組みに挑戦する余裕がないといった課題を解決する。
■成 果	地域活動における報告書作成で写真を添付する方法についての問い合わせが多かった。スマホを活用した書類作成方法を伝えることで、活動報告をスムーズに作成できた。

### たけべ中学生だっぴ

■実行委員会	5回
■月 日	令和6年11月27日（水）
■場 所	建部中学校 体育館
■参加人数	建部中学校2年生…26人 大学生…10人 大人・実行委員会…20人
■目 的	中学生に対し、多様な価値観をもつ大人と交流する機会を提供する。
■成 果	中学生からは「人前でたくさん話せる自分を発見した」「近所の人とも話すようにしていきたい」といった感想が寄せられた。町内の企業・個人から寄付やプログラム参加の協力をいただき、地域の力で開催することができている。

## たけべ部

■実施回数	定例たけべ部 11回、大人たけべ部 13回
■場 所	建部町防災センター、建部町老人福祉センター 建部町文化センター
■参加人数	建部中学生 延べ 163人（全学年対象）
■目 的 内 容	中学生が今の自分自身や未来の自分、未来の地域について考え、行動できる場を目指す。月に一度、建部町防災センターに集まり中学生と交流しながら活動内容を考えた。 たけべマルシェに福渡町内会からの協力を得て、たこ焼き屋「たこROAD」として出店。
■成 果	毎月集まることで中学生が話し合いや作業する時間を多く設けができ、より主体的に活動に参加してもらうことができた。岡山北警察署の善行少年表彰を受けるなど、地域にも活動が認められている。

## メンタルボランティアさくらの会

■登録者	5人 (R7年3月31日時点)
■活 動	なでしこ共同作業所での作業支援…述べ：92人 ミニ交流会への参加…述べ：3人
■成 果	独立した任意団体での活動継続が高齢化により困難になり、本年度から法人の事業として位置づけた。活動内容は、なでしこ共同作業所での作業支援とこら～れで開催するミニ交流会を継続している。
■課 題	作業所ボランティアのような日常的な活動は継続できたが、例会を開催することができなかった。地域の他のボランティア団体とも連携しながら活動を継続したい。